様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024 年 1 月　17 日

１．職名・氏名　教授・佐藤秀一

２．学位　学位　農学博士、専門分野　魚類栄養学　、授与機関　九州大学　、授与年 1986

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ・化学Ⅰ（2 単位）　1 年時生
②　内容・ねらい ・化学の基礎知識を教授し、専門科目への導入を容易にする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・化学の基礎知識をイラストや図を多く使用し、理解を容易にした。

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ・海洋生物育成学（2 単位）博士前期課程 1 年次
②　内容・ねらい ・魚類の栄養要求と養魚飼料の開発に関する知見を修得される。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・最新の魚類栄養に関する知見と従来からある知見を融合しながら教授した。

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ・化学Ⅱ（2 単位）　2 年時生
②　内容・ねらい ・化学の基礎知識を教授し、専門科目への導入を容易にする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・化学の基礎知識をイラストや図を多く使用し、理解を容易にした。

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ・生化学（2 単位）　2 年時生
②　内容・ねらい ・生化学の基礎知識を教授し、専門科目への導入を容易にする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・生化学の基礎知識をイラストや図を多く使用し、理解を容易にした。

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ・化学実験（1 単位）　2 年時生
②　内容・ねらい ・化学の基礎実験手法を教授し、専門科目への導入を容易にする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・化学の基礎実験を行い、理解を容易にした。

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ・養魚育成学実験（1 単位）　2 年時生
②　内容・ねらい ・養魚育成に関する基礎実験を行い、専門科目への導入を容易にする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・最新の分析機器を使用し、理解を容易にした。

(2)その他の教育活動
内容 ・東京大学農学部非常勤講師、水生動物栄養学　(R5 年 4 月～5 月) ・京都大学農学部非常勤講師、特別講義 海洋生物科学（R5 年 9 月）

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

・

【 0 本】

② 学術論文（査読あり）

＊1. Capability of DHA biosynthesis in a marine teleost, Pacific saury Cololabis saira: functional characterization of two paralogous Fads2 desaturases and Elovl5 elongase (Y.Matsushita, N.Kabeya, W. Kawamura, Y.Haga, S. Satoh, G. Yoshizaki), Fisheries Science, 89, 687-698, 2023

2. Determination of dietary essential fatty acids in a deep-sea fish, the splendid alfonsino Beryx splendens: Functional characterization of enzymes involved in long-chain polyunsaturated fatty acid biosynthesis (N.Kabeya, K.Kimura, Y.Matsushita, S.Suzuki, Y.Nagakura, R.Kinami, H.Noda, K.Takagi, K.Okamoto, M.Miwa, Y.Haga, S.Satoh, G.Yoshizaki), Fish Physiology and Biochemistry, 49, 425-439, 2023

3. Impact of purine nucleotide on fatty acid metabolism and expression of lipid metabolism-related gene in the liver cell of rainbow trout *Oncorhynchus mykiss* (S.Tansutaphanit, Y.Haga, N.Kabeya, Y.Matsushita, H. Kondo, I.Hirono, S. Satoh), Comparative Biochemistry and Physiology, Part B, 266 doi:10.1016/jcbpb.2023.110845, 2023

4. Evaluation of yellow mealworm (Tenebrio molitor) meal as a partial replacement of plant-based ingredients in the non-fish meal diets for red sea bream (Pagrus major) (T.K.Seong, S.Feng, N.Kabeya, Y.Haga, S.Satoh), Aquaculture Science, 70(4), 369-380, 2023

【4本】

③その他論文（査読なし）

＊1. 低魚粉飼料（佐藤秀一）、養殖ビジネス　臨時増刊号「現代の魚類養殖業」第 60 巻、第 3 号、61-63、2023 年、3 月

＊2. 新しい飼料原料の開発(佐藤秀一)、養殖ビジネス　臨時増刊号「現代の魚類養殖業」第 60 巻、第 3 号、64-66、2023 年、3 月

【2 本】

④学会発表等

＊1. ニジマス Oncorhynchus mykiss 用配合飼料におけるエンドウ豆タンパクの利用性に関する研 究、令和 5 年度日本水産学会秋季大会（2023、9 月）、増田俊也・゜芳賀穣・壁谷尚樹・佐藤秀一

2. ニジマスの飼育成績に及ぼす高タンパク質大豆ミールの影響、令和 5 年度日本水産学会秋季大会（2023、9 月）、佐藤優吉・芳賀穣・壁谷尚樹・佐藤秀一

3. マサバにおけるアメリカミズアブミールの利用性、令和 5 年度日本水産学会春季大会（2023、3 月）、柴崎英圭・細井公富・水田尚志・富永　修・小澤壮吾・田中友彬・藤村祐輝・佐藤秀一

4. ニホンウナギ Anguilla japonica 仔稚魚の飼育成績に及ぼすアメリカミズアブミールによる魚粉削減飼料 の影響, 令和 5 年日本水産学会春季大会（2023 年 3 月）、田口竜成・西川速人・成　泰敬・森岡伸介・ 上田真也・霜田政美・佐藤秀一・ 壁谷尚樹・芳賀　穣

5. Different origins of black soldier fly Hermetia illucens pupae meal as a partial fish meal replacement in diets for red sea bream Pagrus major, 令和 5 年日本水産学会春季大会（2023 年 3 月）、O.Oktay・S. Morioka・ M.Shimoda・C-M. Liu・T. Kobayashi・ N. Kabeya・Y. Haga・S. Satoh（

【5 件】

⑤その他の公表実績

【　本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

(3)特許等取得

(4)学会活動等

日本農学会　監事　(2022 年 2 月～現在に至る)
日本水産学会　監事　(2022 年 5 月～現在に至る)
世界水産学協議会　副会長（2016 年 5 月～現在に至る）
日本水産学会国際交流委員会委員（2021 年 3 月～現在に至る）
（公財）農学会農学教育推進委員会副委員長（2022 年 4 月～現在に至る）

５．地域・社会貢献活動

・日本学術会議、連携会員（R2.10～現在に至る）
・日本技術者教育機構審査委員（R.3.10～現在に至る）
・日本水産資源保護協会、令和３年度養殖衛生管理技術者養成本科専門コース研修おける講師(R3.11～R6.1)
・マリノフォーラム 21、ナンキョクオキアミ国産ミール検討委員会委員(R3.10～現在に至る)
・国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所、委託プロジェクト研究「クロマグロ養殖の人工種苗への転換促進のための早期採卵・人工種苗育成技術や低環境負荷養殖技術の開発」運営委員会外部専門家(R3.10～現在に至る)
・国立研究開発法人科学技術振興機構、産学共同実用化開発事業評価委員会専門委員及び研究成果展開事業　研究成果最適展開支援プログラム　企業主体評価委員会専門委員(R3.10～現在に至る)
・公開講座　福井県立大学　「先端増養殖科学科」の先取り特別講座」オンライン開催「ベジタリアン養殖魚はつくれるのか」令和４年 10 月 17 日 19:00～20:30
・小浜市サバ養殖協議会（R4 年～現在）

６．大学運営への参画

(1)補職
海洋生物資源臨海研究センター長（令和４年４月～現在に至る）
(2)委員会・チーム活動
先端増養殖科学科 PT 参加　（令和３年 10 月～現在に至る） 教育研究委員会　（令和４年４月～現在に至る）
(3)学内行事への参加
オープンキャンパス、小浜キャンパス（令和４年８月）
(4)その他、自発的活動など